

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。  生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	① Semester制の導入に向けた諸課題の整備と調整を行う。  ② 生徒の主体的な学習を促す授業の研究を行う。	① 選択科目を見直し教育課程の充実を図る。  ② 各教科を中心に、「清南型アクティブラーニング」の授業形態の研究を行い、その結果を共有する。	① 生徒のニーズに合った選択科目を設置できているか。  ② 各科目の特性を活かした「清南型アクティブラーニング」の授業実践ができたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。  学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	① 外部の機関や人材と連携し、積極的に活用する。  ・マナーアップを推進し、コミュニケーション能力を育成する。  ② 生徒が主体的に活動する環境づくりを進め、自己肯定感を向上させる。	① 各年次の教育相談係を通じて、生徒に関する情報を迅速に収集し、必要に応じてSC、SSWにつなげる。  ・全校集会等の運営を通じて、生徒への意識づけを行う。 ・状況に応じた柔軟な巡回指導体制を敷き、問題行動の未然防止に努める、その際、挨拶の励行を促す。  ② 学校行事や委員会活動などを通じて、生徒が主体的に活動できる環境づくりをする。	① SC、SSWの利用及び、課題の解決状況。  ・生徒の反応状況。 ・生徒指導案件の内容及び、近隣からの情報提供の状況。  ② 学校行事や委員会活動の運営が生徒主体のものとなっていたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①キャリアサポート体制を拡充する。 ・「生きる力」を育む。	①年次段階に応じた支援計画を企画実行しながら、個別の進路計画の活用を図る。 ・総合的な学習の時間や外部の教育力を活用する。さらに履修指導なども含めた多面的な指導を行う。	①生徒観察。進路カルテの記述状況および活用状況。 ・進路達成状況とその内訳。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域の学校等と連携するなど、地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・日々の教育活動について、より丁寧な情報発信を行う。 ・地域の防災活動について協働を図る。	①部活動・生徒会活動等を通じ、地域の小中学校との連携を図る。 ・教育活動のねらいや意図に加え、生徒の様子を丁寧に説明し、本校への理解度の向上を目指す。 ・地域の美化活動、D I G研修等を通じ、地域理解を広げ、自治会の防災活動との連携を図る。	①活動の件数を増やし、内容を充実させることができたか。 ・ホームページが情報提供の媒体として活用の割合がアップしたか。ホームページの見やすさが向上したか。 ・防災活動における地域との連携はできたか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等を作成し、内容の周知を図る。 ・三課程で実施する防災訓練を定着させる。 ② I C T機器の利活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①学校安全・安心活動計画の取りまとめと内容の周知を図る。 ・三課程合同訓練の実施目標を明確にし、事後の検証を行う。 ② I C T機器の整備を行い、授業や行事等における積極的な利活用を呼びかける。	①学校運営マニュアルの周知を図ることができたか。 ・これまでの取組みの整理と今後の方針を確認できたか。 ② I C T機器の整備を進め、積極的な活用状況が見られたか。					